

《はじめに》

近年、「地域生活」を進めるサイドから障害者自身の高齢化や親亡き後の問題や地域社会生活で対応困難な方への対応、医療的ケアの必要な方や看取り対応の課題を入所施設の役割として求める傾向が強い印象を受けます。大木会の各施設はこれまでの実績として上述のような対応に至ったケースは少なくありません。しかしながら大木会は入所施設の役割を入所施設で暮らす本人の人生と育ちにスポットを当て、本人、家族とともに施設自身も同様に責任をもって生活課題に向き合い、共同生活をつうじて人間関係の成長と生活を創造していくことを彼らに対する役割としています。大木会は、教育（共育）的目的をもって取り組み、成長していく集団生活、共同生活で彼ら自身が暮らしを築いていく「入所施設」でありたいと願っています。

大木会の各施設がこれまで取り組んできた結果、それらの役割を担ってきたといえるケースは少なくありません。体制、設備共に十分ではないなかで、一人ひとりにしっかりと向き合い一緒に暮らしてきました。人員体制への加算設定が「終末ケアができる入所施設」になれるわけではありません。一人ひとりの人生に向き合う「入所施設」を支える法人、大木会であらねばと思っています。

＜法人本部＞

新型コロナウイルスが日本を含めた全世界で蔓延し、3年が経過しました。ウイルス自体が変化を加えて徐々に弱毒化しているように見聞しますが、感染者数に比例してなお死亡に至るケースが絶えないのも事実です。もみじ・あざみでは、令和5年新年を迎えると同時に新型コロナウイルス罹患者が確認され瞬く間に感染が拡大し、もみじ男子棟以外は全員感染し、利用者・職員64名が感染するクラスターが発生しました。感染症に対する治療は皆さん1週間程度で終了していますが、基礎疾患に重大な課題を持つ一人の利用者が残念な結果を迎えることになってしまいました。感染症対策については慎重に進めてきたところですが、ひとたび施設内に感染要因が入った場合、感染拡大を阻止することの難しさを痛感しています。

いろんな面でこれまで当たり前であった生活活動が自粛や中止を余儀なくされてきた3年間でした。「不満」が先行して増大することを心配しましたが、制限のある中でも出来ることを見つけ、新しい視点で取り組みを見直したりする職員に対して寮生さんたちもそれに応えようとしている生活の空気を感じます。

＜運営総括として＞

これまで理事会でも示されていますが、運営基盤の立て直しが急務となっています。①人材確保、②設備（生活環境）保全と改修、③運営資金の安定の各項目について計画（構想）の進捗と達成状況とその効果を評価し次につなげることが十分ではなかったと言えます。その結果、決算作業にあたり、あざみ会計においては、最終補正が必要であると判断し実施しました。

「大木会 経営・運営基本方針」「大木会 中・長期活動指針」（2018.8.20）のもとに活動していますが、目標課題と取り組む事項を各年次別、別5年、10年単位の区分で計画し、評価を加えて実施状況と進捗を評価できる体制を整えることが必要です。次年度に形が出来るように進める必要があります。

法人部門で挙げている重要事項5項目については以下のとおりです。

1、重要事項5項目について

- 1) 高齢化や身体弱者である寮生さんの健康を第一に考え、日常生活やご家族・ご協力いただく多くの方々との関係を組み立ててまいります。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策から、各施設関係者以外の方との接触を遮断し、ご家族との直接の面会も原則としてできない状態を継続しています。(個別ケースで対応していますが、感染対策を講じて面会を設定するなどひと・社会との関係を大切にに取り組んでいます：令和5年3月時点)

寮生さんたちの健康を守るためとはいえ、3年に及ぶ期間が経過する今日、いろんな面で配慮と慎重な対応が必要な場合も生じると思われます。しかし、会えないことがすべてを遮断することではなく、これまで経験や体験していなかった方法や手段で相互の近況を確認することができるようになったご家族もあり、プラス思考も大切であると実感します。より積極的に広く活用していかなければなりません。

2) 経営を安定的に進めるため5か年計画で利用者の入所を計画的に進めていきます。

5か年経計画をもって入所定員の補充に取り組みましたが、退所者の発生もあり計画の定員補充に至らず、欠員増加の結果となっています。

単位：人

施設	期初現員	入所	退所	期末現員	定員	欠員
一麦	44	0	3	41	50	9
もみじ	41	1	2	39	50	11
あざみ	23	1	0	24	30	6
合計	108	2	5	104	130	26

3) 施設のあるべき姿を求め、必要な改修、改築を進めます。

施設における障害者虐待防止及び身体拘束の適正化のための具体的対策として法人職員研修で実施しました。苦情解決委員会を11月28日(月)に開催し、虐待防止委員会も開催する形態で実施しました。

各施設ともに経年劣化や不具合が生じる箇所や設備について補修または更新となりますが、大規模設備(空調設備等)などは費用を含めて計画的に取り組むことが早急の課題となっています。年次計画、スケジュール化が次年度以降の課題となります。

4) 人材確保の求人活動、入職者の育成研修に努力します。

中途採用ですが1名を確保したものの年度途中での退職となりました。組織の未熟さ是否定できませんが、やむを得ないケースもあると判断します。しかし1年以上経たのちに退職するケースが続いている実態から、業務の多様化と増加、人員不足などいろいろな要因が該当すると思われそうですが、ハラスメントに至らなくとも10年以上の職員よりも5年未満で退職するケースから職場環境の課題を探り研修テーマにつなげよう取り組み始めたところです。

5) 経営の透明性を保ち情報の開示をいたします。

- ・現況報告として「社会福祉法人の財務諸表等開示システム」で会計決算諸表を開示し、確認できる状態です。
- ・あざみ会計において、法人拠点区分より5,000万円を繰り入れ、今後15年間の返済計画のもとに決算を行いました。
- ・令和5年2月21日に令和4年度社会福祉法人指導監査(所轄庁：湖南省)が実施され、工事契約において、当法人経理規程を拡大解釈し運用し随意契約に至っていることから口頭指示を受けました。実施経過を見直し今後の規定順守につなげます。

2、役員会・評議員会関係

〈令和3年度監事監査〉

- 1) 令和4年5月25日(水) 10:25~13:30 於大木会会議室

令和3年度理事、法人及び施設の職務執行状況及び財産管理状況、会計状況に関する監査。

〈理事会〉

- 1) 第1回理事会／令和4年6月6日(月)、於もみじ・あざみ会議室(オンライン併用)

令和3年度事業報告の承認について、令和3年度会計収支決算報告の承認について、監事監査の報告について、社会福祉充実残額および社会福祉充実計画について、基本財産の処分(建物解体)の承認について、令和4年度第1回評議員会の招集について

- 2) 第2回理事会／令和4年9月26日(月)

諸規定の一部改正の承認について、令和4年度事業計画事項および収支の一部変更の承認について、定款の一部変更の承認について(基本財産の処分)、令和4年度歳2回評議員会の決議省略について

- 3) 第3回理事会／令和4年9月30日(金)、決議の省略

令和4年度会計収支補正予算案(第一次)の承認について

- 4) 第4回理事会／令和4年12月9日(金)、於一麦多目的ホール(オンライン併用)

12月期末勤勉手当加算乗率と一時金の支給及び職員の処遇改善について、令和4年度収支会計補正予算(第二次)案の承認について、令和5年度施設長人事について、令和4年度第3回評議員会の決議省略について

- 5) 第5回理事会／令和5年3月10日(金)、もみじ・あざみ会議室(オンライン併用)

諸規程の一部改正の承認について、寄付金の申し出と採納の承認について、理事長専決処分の報告と承認について、令和4年度会計収支補正予算(第三次)案について、令和5年度事業計画(案)について、令和5年度会計収支予算(案)について、令和5年度施設長の委嘱に係る報酬と雇用契約について、令和4年度第4回評議員会の招集について

〈評議員会〉

- 1) 第1回定時評議員会／令和4年6月24日(金)、於一麦会議室(オンライン併用)

令和3年度事業報告の承認について、令和3年度会計収支決算の承認について、監事監査の報告について、社会福祉充実残額及び社会福祉充実計画の承認について、基本財産処分(建物解体)の承認について

- 2) 第2回評議員会(決議の省略)／令和4年10月8日(土)

諸規程の一部改正の承認について、令和4年度会計収支補正予算案(第一次)の承認について、定款の一部変更の承認について

- 3) 第3回評議員会(決議の省略)／令和4年12月17日(土)

12月期末勤勉手当加算乗率と一時金の支給及び職員の処遇改善について、令和4年度会計収支補正予算書(第二次)案の承認について、令和5年度施設長人事について

- 4) 第4回評議員会／令和5年3月24日(金) 於一麦会議室(オンライン併用)

諸規程の一部改正の承認について、寄付金の申し出と採納の承認について、理事長専決処分の報告と承認について、令和4年度会計収支補正予算(第三次)案について、令和5年度事業計画(案)

3、寄付採納について（敬称略）

- ・一麦保護者（38 名）（4,560 千円） 一麦改築整備費償還金財源として
- ・大木会後援会（570 千円） 償還金財源、職員育成事業及び感染症対策費として
- ・（一財）大井伊助積善会（300 千円）
- ・（株）シガ技研（300 千円） 一麦、もみじ、あざみ各施設事業
- ・元利用者家族（31,000 千円）一麦 1 家族、もみじ 2 家族、あざみ 1 家族

4、長期借入金返済状況

- ・（独）福祉医療機構、（株）滋賀銀行からの施設整備等の長期借入金については下記の表のとおり返済予定額を返済しました。
- ・新規の借入金設定ではないが、「あざみ拠点区分」で資金残高不足が生じたため、決算にあたり、「本部拠点区分」から 50,000 千円の繰り入れを行い対応しました。今後 15 年計画で返済する運営計画で対応します。（令和 5 年 3 月 31 日現在） 単位：円

使 途	借 入 先	期首残高	当期返済額	期末残高	完済年度
建物取得（一麦）	（独）福祉医療機構	13,500,000	4,500,000	9,000,000	2024
建物取得（GH 碧天）	（独）福祉医療機構	22,538,000	2,292,000	20,246,000	2032
小 計（1）		36,038,000	6,792,000	29,246,000	
建物取得（一麦職員寮）	（株）滋賀銀行	9,392,000	5,076,000	4,316,000	2023
建物取得（特殊浴室棟増築）	（株）滋賀銀行	12,750,000	3,000,000	9,750,000	2026
内 訳	一 麦	4,249,900	999,900	3,250,000	
	もみじ	4,250,200	1,000,200	3,250,000	
	あざみ	4,249,900	999,900	3,250,000	
小 計（2）		22,142,000	8,076,000	14,066,000	
総 計		58,180,000	14,868,000	43,312,000	

5、規則・規程の制定／改廃

- ・育児休業に関する規程一部改正 令和 4 年 10 月 1 日施行（R4.9.26 第 2 回理事会）
（出生時育児休業）の創設（出生時育児休業の対象者）第 6 条及び第 7, 8, 9 条該当
- ・職員給与規定の一部改正（R5.3.10 第 5 回理事会）
（時間外勤務手当）第 19 条第 2 項 1 か月に 60 時間を超える場合の割増率の変更

6、主な契約・許認可・届出

1) 契約等

- ・「社会福祉法人用役員賠償責任保険」の加入（継続） 保険料 83,000 円
加入日：令和 4 年 10 月 1 日（期間：1 年間）
被保険者：理事及び監事。評議員を含む。
- ・「しせつの賠償補償」の加入（継続） 保険料 232,520 円（全事業所合計）
保険期間：令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 4 月 1 日まで

2) 許認可

- ・指定障害福祉サービス更新申請 グループホーム碧天

サービス種別 共同生活援助（グループホーム）

指定期間 令和5年4月1日から令和11年3月31日まで

所管庁 滋賀県

・定款変更 基本財産（建物解体による）処分承認 令和5年2月17日 湖南市長

3) 届出

1) 指定障害福祉サービスに関する報告・届出（全施設・事業所）令和4年4月6日

実績報告書：各施設・事業所

2 介護給付費算定に係る体制の変更に伴う届出 令和4年6月10日

もみじ 常勤看護師配置加算 R4.7.1～算定可能

3) 労務関係（労働基準法第36条関係） 令和5年3月22日（一麦、もみじ・あざみ）

・時間外労働、休日労働に関する協定届（但し、時間外労働については特別条項を付記 月80時間ただし年間6回まで 年間総720時間）

・1か月単位の変形労働時間制に関する協定届

・1年単位の変形労働時間制に関する協定届

7、登記関係

社会福祉法人変更登記

1) 令和4年6月28日 届出 6月28日 資産総額変更登記完了
(令和4年3月31日現在 2,164,525,426円)

2) 令和4年6月17日 届出 6月22日 理事長の変更登記完了
(令和4年4月1日 理事長 松田圭隆)

8、主な事項・行事等

新型コロナウイルス感染症が拡大して3年を迎えた令和4年度においてもすべての場面で感染症対策を講じて取り組みましたが、令和5年新年を迎えあざみで陽性者が確認され、もみじ男子棟以外の寮生さんに拡大し、職員を合わせて64名が罹患しました。約1か月にわたる施設内での静養となりましたが、うち1名（寮生）の方は重症の基礎疾患がありよく翌日から入院治療を受け、10日間の感染症治療を終え一般病棟に移り療養していましたが残念な結果を迎えてしまいました。グループホーム碧天でも利用者が罹患しホームで全員が療養・待機し対応しました。社会の動向では従前の日常を取り戻しつつありますが、健康弱者の皆さんの暮らしではまだまだ慎重な対応が避けられません。

帰省や外出は自粛していますが、ご家族との関係はリモートを活用した面会や感染症対策を講じた環境で面会を実施するケースもありますが日常的には対応できていません。

対外的な行事や活動は行っていませんが、できる限りの施設活動に取り組むことで気兼ねなく社会活動ができる日が来ることを皆さん待ち望んでくれています。

9、なんでもお話ししましょう会（大木会福祉サービス苦情解決委員会）

感染症対応の影響ではほぼ3年にわたり開催できませんでした。リモート活用などいろんな方法を考えながら、施設の現状報告と第三者委員の方と施設との面談の機会として令和4年11月28日（月）に苦情解決委員会のみ開催しました。各委員からも「何でもお話ししましょう会」実施の強い要請があり、年度内の開催を検討したものの各施設で感染症対応に追われ実施することができず、新年度4月開催に向けて準備することになりました。

10、各種研修会実施・参加状況

区分	内容	担当者（主催）等	受講者（対象）	実施時期
初任者研修	新任の育成 大木会の理念について 振り返りとこれから	辻 松田	計1名	7月29日 (10月31日)
一般職員研修	（前期）施設内虐待防止、ハラスメント防止、身体拘束の適正化に向けた研修会	松田	計62名	9月27日、10月28日、 11月22日
	（後期）①先人の視点 ②前期研修の振り返り	辻 松田	計60名	1月31日、2月15日、3 月3日、3月15日
GHスタッフ研修会	①先人の視点 ②ハラスメント防止、施設内虐待防止、身体拘束適正化への研修会	辻 松田	グループホームスタッフ 6名	3月13日
苦情解決担当者等	福祉サービス苦情解決 研修会	滋賀県運営適正 化委員会	第3者委員1名 一麦施設長 もみじ・あざみ副施設長	3月13日
安全・危機管理者	「いつも安心できる施設をつくる ～BCP 策定のポイント」	滋賀県児童成人 福祉施設協議会	管理者（理事長）	1月26日
虐待防止	零話4年度滋賀県障害者虐待防止・ 権利擁護研修会	滋賀県健康医療 福祉部	一麦施設長 もみじ・あざみ副施設長	12月5日
施設長会議	近畿地区知的障害者関係施設長会議	近畿地区知的障 害者福祉協会	一麦施設長 もみじ・あざみ副施設長	12月20日
専門・資格	強度行動障害者支援者研修(基礎)	滋賀県	一麦5、もみじ1 あざみ1	9月
	(実践)		もみじ1	10月

11、施設・設備整備状況

	一麦	あざみ	もみじ
補修・保全等	多目的ホール、廊下（一部）改 修工事 6,325,000円	職員宿舍解体 4,650,000円	管理棟1F・2Fトイレ改修工事 5,450,000円
設備整備	トイレブース改修1,040,000円 空調（東・西ユニット居間）設 備工事 3,080,000円	非常灯交換 生活棟・管理棟 511,875円	非常灯交換 生活棟・管理棟 ・体育館 856,125円

12、青山塾開講状況

回	期 日	テーマ	講 師
1	8月13日	田村一二の思想と実践	元一麦寮長 吉永太市 氏
2・3	9月10日、10月15日	糸賀一雄の思想と実践	日本社会事業大学社会福祉学部教授 蒲生俊宏 氏
4・5	11月12日、12月10日	池田太郎の思想と実践	日本社会事業大学社会福祉学部講師 富永健太郎 氏
6・7	2月11日、3月11日	岡崎英彦の思想と実践	元びわこ学院大学教授 遠藤六朗 氏

〈 一 表 〉

1、実施事業 障害者支援施設

生活介護 定員 50 名
施設入所支援 定員 50 名
短期入所 定員 2 名 (男 1、女 1)
日中一時支援事業 定員なし
緊急一時保護 (甲賀圏域)
災害時における福祉避難所 (湖南市)

2、利用者の異動

年度初日 定員 50 名 現員 44 名
年度末日 定員 50 名 現員 41 名 うち 1 名は長期入院、
転籍 1 名、死亡による退所 2 名

3、職員の異動

令和 4 年 4 月 1 日現在
新規採用 (生活支援員) 1 名

{	31 名 施設長 1 (サービス管理責任者兼務)
	生活支援員 17 (常勤 15、短時間 2)
	嘱託医 1、看護師 1
	栄養士 1、調理員 6 (常勤 3、短時間 3)
	事務長 1、書記 3

年度中退職 4 名 (生活支援員 3、調理員 1)
令和 5 年 3 月 31 日退職 なし

4、基本方針 (重要事項) の進捗と経過について

1. 健康の保持

高齢化による体全体の機能低下は増してきている現状で、日常を保つことが容易ではありません。些細な変化が生命の維持に直結する場合があります、長期入院または医療機関への全面的移行のケースが生じます。

2. 定員の充足に向けて

年度初め 44 名だった現員が年度終わりに 41 名となっています。死亡による退所や医療機関への転籍による減員です。令和 5 年 4 月に 1 名の入所が決まっています。施設の財務状況も踏まえた上で、継続した定員の補充計画に沿って施設全体で受け入れる環境を速やかに用意します。

3. 生活活動の充実に向けて「共育」の視点と環境を築き、課題に取り組みます

ここまでに培った課題や次の目標への芽生えがあります。一人ひとりの違いをみつめて、共に育つためには生活の中で相手をよく知り、学ぶ姿勢が必要です。少しずつ協働での暮らしに自主性が生まれています。継続していく必要があります。

4. 住環境の保守点検及び整備と整備計画を整え、生活の変化と状況に対応します。

感染症への対応から延期となっていた多目的ホールと周辺廊下が改修工事をすることができました。今後は居室整備や空調機の更新を検討しています。災害時非常電源が故障し、修理及び更新が検討課題です。日中活動棟整備計画は継続の検討課題としました。

5. 防災・危機管理

令和4年度の非常災害対策及び新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画を策定しています。感染拡大対策において、災害時の食料備蓄などについて見直す必要がありました。早急に備蓄の検討と購入を予定しています。保管場所にしても検討していく必要があります。

5. 生活の状況

現在の一麦は、60歳を超える方、または間近かに迎える方が7割近く生活しています。現時点で、コロナ禍である状況に変わりはありません。感染者数の動向や感染症への対応に追われる日々でしたが、できることに目を向けて日々の暮らしや取り組みに希望や願いをもって過ごしています。不可能ではなく、どうすれば可能になるのか。職員も考えた上で少しずつではありますが、行動の範囲や可能性を拡げています。毎日の食事についても同様ですが、行事や一人ひとりの誕生会は節目を祝う工夫を凝らして、安全でおいしく頂けるように計画し、環境や個々の健康状態に合わせて丁寧に実施しています。

6. 医療・受診状況

<受診状況>

受診科	実人数	受診回数
内科	21	146
外科	7	12
整形外科	10	96
泌尿器科	3	31
精神科	11	71
耳鼻咽喉科	2	4
眼科	2	7
皮膚科	9	122
婦人科	8	8
歯科	39	350 (29)
訪問マッサージ	1	(46)

<主な検診>

10/11	結核検診
7/6、1/6、3/13	内科健診（嘱託医）
9/7、9/8	腹部エコー
10/6	歯科検診（口腔センター）
11/1	インフルエンザ予防接種
10/31、11/4、7.15	婦人科検診（加藤乳腺クリニック）
3/20	成人病健診
8/4、12/15	新型コロナワクチン接種

<入院>3人

- ・ 済生会守山市民病院 R4. 2/28～7/5（肺炎、脱水等）
以後は紫香楽病院に転籍（退所）
- ・ 生田病院 R4. 2/27～4/21、5/4～（肺炎 長期入院継続）
- ・ 生田病院 R5. 3/14～/16（ ）

*（ ）内は施設への訪問診療

7. 主な行事・活動

- 4/1 新人職員着任式・新年度会議、/6 始業式（クラス編成発表）、新任職員歓迎会、/18 古希祝会、/27 音楽教室
- 5/5 飯盒すいさん、/30 避難訓練
- 6/27 音楽教室
- 7/6 内科検診、/7 七夕祭、/12 プール開き、/25 スイカ割り大会、/28 音楽教室
- 8/3 一麦合宿、/4 コロナワクチン接種④、/24 地藏盆、/30 音楽教室
- 9/7.8 腹部エコー、/9 お月見会、/21 総合防災訓練、夜間業務従事者健診、/27 法人研修①、

/29 音楽教室

10/6 歯科検診、/11 結核検診、/23 第 61 回運動会、/28 法人研修②

11/1 インフルエンザワクチン接種、/11 茶道部、/22 法人研修③、/30 音楽教室

12/13 お楽しみ会、/15 コロナワクチン接種⑤、/24 クリスマス会、/29 音楽教室

1/1 新春お楽しみ会、/6 内科健診、/16 新春お食事会、/29 音楽教室

2/3 節分、/9 3 学期お楽しみ会、/10 音楽教室、/15 法人研修④

3/3 ひな祭り、/20 成人病健診、/20 音楽教室

8、主な施設整備

・トイレブース（北中・西・東）改修	（株）重信工務店	1,040,000 円
・厨房給湯器更新（2 台）	（株）パーパスエコテック	475,200 円
・多目的ホール、廊下（一部）床改修	東レ建設（株）	6,325,000 円
・（東・西）ユニット居間空調設備設置	（株）シガ技研	3,080,000 円

9、保護者会開催及び家庭通信等の状況

- 1、令和 4 年 6 月 10 日 （日常小遣い）預り金管理報告の送付
- 2、令和 4 年 7 月 12 日 施設長着任のあいさつとコロナワクチン接種のお知らせ
- 3、令和 4 年 7 月 26 日 家庭通信（個別通信）の送付
- 4、令和 4 年 9 月 5 日 個別支援計画①発送（説明・確認）
- 5、令和 4 年 10 月 17 日 保護者会 役員会 令和 4 年度保護者会の対応協議と
令和 3 年度保護者会事業報告、会計監査の実施
- 6、令和 4 年 10 月 28 日 書面による令和 4 年度一麦保護者会総会資料の送付
- 7、令和 4 年 11 月 18 日 令和 4 年度年金管理報告書送付、インフルエンザワクチン接種の
お知らせ

〈もみじ〉

1、実施事業

生活介護 定員50名

施設入所支援 定員50名

短期入所 定員4名(男2名、女2名)

日中一時支援事業、緊急一時保護(虐待含)、災害時における福祉避難所(湖南省)

2、利用者の異動

年度初日 定員50名 現員40名

年度中 6月1日 男子1名入所

8月21日 男子1名死亡退所(老衰)

2月4日 女子1名死亡退所(呼吸不全増悪)

年度末日 定員50名 現員39名(男子19名、女子20名)

3、職員の異動

令和4年4月1日現在 24名

{	施設長1、サービス管理責任者1
	生活支援員17(常勤15、短時間2)、
	看護師1(短時間1)、
	管理栄養士1、調理員2、書記1

令和4年6月1日 常勤看護師1名採用

令和5年3月31日 生活支援員3名(常勤2、短時間1)退職

4、重点事項の振り返り

(1) それぞれの生活課題に対して「ひとりひとりを大切にした支援」

感染対策の中での暮らしも3年が経過。健康でいつもの日常を送ることができたことに感謝です。一人ひとりと向き合う中で新たな発見があり、そのことが嬉しく、励みにつながりました。新規入所者を迎える中で、関係性を築くことの大切さ、集団生活の意味を改めて考える機会となり、一つひとつの気づきを個別の目標、全体の目標につなげ取り組みました。

(2) 健康管理と医療機関との連携

施設全体で感染拡大防止対策継続の日々です。検温、手洗い、消毒、マスク着用等の基本の感染対策が習慣づいています。体調変化の早期発見と情報共有に努め、予防対策につながりました。高年齢になり、転倒や排便コントロールがうまくいかない不調が増えています。日常的に主治医のサポートにつなげるよう努め、対応しています。

(3) 施設整備と改修

- ・非常灯照明更新 (株)シガ技研 856,125円
- ・管理棟1F・2Fトイレ改修工事 (株)重信工務店 5,450,000円
- ・給湯器2台 更新 (株)須賀工業 482,900円

〈あざみ〉

1、実施事業

生活介護	定員 30 名
施設入所支援	定員 30 名
短期入所	定員 2 名
日中一時支援事業	定員なし
緊急一時保護、災害時における福祉避難所(湖南省)	

2、利用者の異動

年度初日	定員 30 名	現員 23 名
年度中	6 月 20 日	女子 1 名入所
年度末日	定員 30 名	現員 24 名

3、職員の異動

令和 4 年 4 月 1 日現在	18 名	〔 施設長 1 名、 サービス管理責任者 1 名 生活支援員 11 (常勤 5、短時間 5、休職中 1) 看護師 1 (短時間) 栄養士 1、調理員 2、書記 1
令和 5 年 3 月 31 日	2 名 (生活支援員 2 名) 退職	

4、重点事項の振り返り

(1) それぞれの生活課題に対して「ひとりひとりを大切にした支援」

感染対策継続の暮らしの中でも、健康でいつもの日常を送れたことに感謝です。一人ひとりと向き合う中であらたな発見があり、そのことが嬉しく励みにつながりました。新規利用者を迎える中で、関係性を築くことの大切さ、集団生活の意味を改めて考える機会となり、一つひとつの気づきを個別の目標、全体の目標につなげ取り組みました。

(2) 健康管理と医療機関との連携

施設全体で感染拡大防止対策継続の日々です。検温、手洗い、消毒、マスク着用等の基本の感染対策が習慣づいています。体調変化の早期発見と情報共有に努め、予防対策につなげました。高年齢になり、転倒や排便コントロールがうまくいかない不調が増えています。日常的に主治医のサポートにつなげるよう努め、対応しています。

(3) 施設整備と改修

- ・非常灯照明更新 (株) シガ技研 511,875 円
- ・(女子) 職員宿舎解体撤去及び整地工事 (株) 重信工務店 4,650,000 円
- ・給湯器更新工事(2台) (株) 須賀工業 482,900 円

もみじ・あざみ共通参考資料

1、利用者の生活状況と取り組みについて

新型コロナウイルス感染症対策を中心とした暮らしを継続して3年。感染対策の生活にも慣れ、一人ひとりが受け入れ、自分自身の暮らしを築いているように思います。思うようにいかないこともあり、不平不満がぶつかり合って生活リズムの変調につながることもありましたが、それも一つの学びと捉え、その都度一緒に考えながら取り組んできました。変化を受け入れることが苦手な方が多いですが、状況により変更となる日課を受け入れ、気持ちを切り替えようと努力する姿に一人ひとりの自信を感じます。

行事や外出もできる範囲で取り組みました。室内では、全員が集まることができないため始業式や寮生劇、運動会などは屋外の円形広場で実施しました。「できない」ではなくどうすれば安心してできるかを考え取り組みました。

2、健康管理から見る身体と暮らしの変化

新年早々に新型コロナウイルス感染症が発生しました。利用者44名、職員20名の陽性が確認し、約1か月間、施設全体が療養所となって対応しました。重症者はいませんが、重篤な疾患のある方1名は、翌日から入院し10日間の感染治療を終え一般病棟に移ったのちですが亡くなりました。

加齢に伴う全身の機能低下や生活意欲、気力の低下から生じる健康変化への対応は「若い」をしっかりと受け止めることが必要です。ご家族の皆さんとも一緒に向き合い、穏やかに過ごせる時間を大切にしています。

3、医療・受診状況

〈通院状況〉

受診科	もみじ		あざみ	
	実人数	受診回数	実人数	受診回数
内科	39	325	24	169
外科	10	20	6	11
整形外科	13	93	11	63
婦人科	1	1	1	1
泌尿器科	9	75	1	3
皮膚科	10	61	8	52
眼科	12	26	2	20
精神科（神経内科）	1	4	0	0
歯科	18	51	9	12
耳鼻科	4	16	6	43

〈定期健診等〉

4月18日	結核検診
7月13.14日	内科検診、腹部エコー
11月10日	インフルエンザワクチン接種
2月9日	歯科検診
	新型コロナワクチン接種
3月8.9日	成人病検診

〈嘱託医契約〉 嘱託医を配置せず、無医師配置減算体制を届出。

〈入院の状況〉

もみじ：滋賀県立総合病院 26日間（新型コロナウイルス感染症 R5.1.10～1.20）

（呼吸不全、肺炎等 R5.1.20～2.4）

生田病院 14日間（尿閉、尿路感染症 R5.2.17～3.2）

済生会滋賀県病院 20（25）日間（大腿骨頸上骨折 R5.3.12～4.5）

あざみ：滋賀医科大学付属病院 計7日間（左右白内障 R4.5.9～5.11、6.13～6.16）

大津市民病院、済生会守山市民病院 計234日間（大腿骨頸部骨折 R4.7.11～R5.3.1）

済生会滋賀県病院 28日間（大腿骨頸部骨折 R4.12.31～1.27）

〈来診・往診の状況〉：

佐野医院（内科） もみじ：24名（38回）
あざみ：21名（23回） } *コロナ療養期間の往診含む
阿星山診療所（精神科） もみじ：30名（延318人）
あざみ 17名（延178人）

〈訪問マッサージ〉 たかはし治療院

計3名（もみじ1名、あざみ2名）の利用者が、医師の意見書をもって身体機能の保持と低下の抑制を治療目標に、1～3回／週の割合で、訪問マッサージを受けています。

4、主な行事・活動

4/1 着任式、/4 新年度会議、/5 始業式、/18 結核検診
5/1 氏神祭（施設内）、/3 施設内限定作品展示販売会、/20 寮生劇（円形広場にて）
6/16 薬剤散布（害虫駆除）、/18 食堂喫茶、/30 総合防災訓練
7/7 七夕・創立記念、/13.14 内科検診・腹部エコー、/21 誕生会、/28 避難訓練、/12 誕生会、/16PCR 検査（職員）、/18 新型コロナウイルスワクチン接種④、/25 地蔵盆、/26 避難訓練、防災 DVD 学習会、/29 深夜業務従事者健診
9/1.2 全体モニタリング会議①、/22 避難訓練、/29 誕生会、/30 運動会
10/2 南学区地域防災訓練、/21 文化祭、/27 総合防災訓練
11/10 インフルエンザ予防接種、/12 あざみ（古希・喜寿・傘寿）祝会、/16 観劇会（ウェブ）、/17 誕生会、/23 女子棟還暦祝会、/24 避難訓練、/28 苦情解決委員会
12/8 害虫駆除、/13 女子棟（古希）祝会、/16 クリスマス会、/19 コロナワクチン接種⑤、/22 誕生会、/28 もちつき大会
1/1 新年の集い、/3①PCR 検査（EBS）、/10②PCR 検査（EBS）、/26③PCR 検査（EBS）
2/3 節分、/9 歯科検診
3/6（1月、2月、3月合同）誕生会、/8.9 成人病健診、/22.23 モニタリング会議

5、家族の会開催状況及び通信状況

もみじ・あざみ家族の会活動は、感染の拡大防止を最優先し令和4年度も役員会、総会ともに参加型の開催を中止し、文書通信で相互に意思疎通を図り運営しました。原則としては、帰省や面会も中止していますが、個別の事情により感染対策を講じた環境で短時間の面会を実施したケースはありますが、一般化することはできませんでした。

家庭通信の状況 4/15 2021年度の振り返りと近況（3学期）報告
5/31 氏神祭り・ゴールデンウィークの様子などお便り
8/1 寮生劇、創立記念日とくらしの報告
9/12 夏休みや地蔵盆の様子、1学期のまとめ報告
11/1 運動会・文化祭の報告
12/26 2学期のまとめ報告、創造の森美術教室カレンダー送付。
2/13 新型コロナウイルス感染症終息のお便り
2/28 年末年始の様子についてお便り

6、生産活動と利用者工賃（報償費）報告について

月額1,000円及び12月期に5,000円を本人支給金として、社会活動の奨励・促進を目的として全利用者に直接支給しました。

作業活動における報償費と収入のバランスがむづかしい状況が続いていますが、作業意欲と実績への評価として下記のとおり支給しました。

(月額・人数)

工賃内訳	金額	延べ人数		月平均人数	
		もみじ	あざみ	もみじ	あざみ
作業手当(3,000円)	3,000円	31	19	2.6	1.6
作業手当+皆勤手当(2,000円)	5,000円	509	223	42.4	18.6

月額工賃基準：作業参加日数を2区分（基準：3分の2以上で皆勤手当を支給）で評価し上記のとおり工賃を支給しました。

各施設の一人当たりの月額平均工賃は以下のとおりです。

もみじ 4,962円

あざみ 4,882円

7、生産活動（就労支援事業）会計報告

もみじ

科目	収入金額(円)	科目	支出金額(円)
生産活動収入		生産活動支出	
クリーニング事業収入	1,890,933	材料費	224,012
陶芸事業収入	27,400	労務費(報償費)	2,679,500
農芸事業収入	4,000	外注加工費	
その他の事業収入	21,000	経費	1,868,591
生産活動収入合計	1,943,333	生産活動支出合計	4,772,103
生産活動収支差額	▲2,828,770		

あざみ

科目	収入金額(円)	科目	支出金額(円)
生産活動収入		生産活動支出	
織物事業収入	328,500	材料費	147,955
		労務費(報償費)	1,181,600
		外注加工費	
		経費	108,452
生産活動収入合計	328,500	生産活動支出合計	1,438,007
生産活動収支差額	▲1,109,507		

< グループホーム おおきな木 >

1、事業及び体制の概要

事業名 (グループホーム) 共同生活援助 (介護包括型)

指定期間 令和2年4月1日から令和8年3月31日まで

定員 6名

職員配置基準 管理者1、サービス管理責任者1

生活支援員 1名(28時間/週以上)

世話人 3名(4:1体制 60時間/週以上)

夜間支援体制 宿直対応(現場スタッフ及び関係職員が対応)

2、利用者の異動

年度当初 定員6名 現員6名

年度末日 定員6名 現員6名 異動者なし

3、新型コロナウイルス感染症への対応とホーム待機による精神不安へのケア

昨年度に引き続き、通所利用する事業所やスタッフ関係者等にコロナ感染不安が生じると、安全が確認できるまでホーム待機になることが多い1年でした。幸い、おおきな木の利用者からはコロナ陽性者は出ませんでした。年明けからは1ヶ月以上に渡りホーム待機になることがあり心配しましたが、世話人さんで協議相談し、日中の活動の提供をしてもらいました。日課や作業ということではなく、生活の中、みんなと一緒に取り組む、という関係性の中で乗り越えられたことは貴重な経験でした。

4、主な活動及びホームの動き

- ・誕生会、クリスマス会、年度末にお花見会。
- ・土日の自由な買い物等の行動制限は継続中。日曜日に世話人が同行し、短時間で買い物を実施している。
- ・余暇支援；畑作業や花壇作り、刺繍・編み物、小遣い帳の記入など。

5、日中活動、就労状況

6名の入居者のうち2名は(福祉的)雇用契約を整え就労(1名は週3日、もう1名は週1日)。他法人作業所(1名は週5日、もう1名は週3日)、もみじ(生活介護)に計5名(週5日が2名、週4日が1名、週2日が2名)が利用しています。仕事への意欲がないわけではありませんが、年々疲れが見え隠れするようになってきました。

利用者の年齢的な面から、日中活動のあり方についての検討も必要になってきています。

6、その他の事項

- ・スタッフ会議(業務確認、ケース検討会議、勤務調整等) 毎月1回
- ・6名のうち5名が65歳以上となり、加齢による生活習慣病等への健康管理・対応の頻度が増えてきています。5月、6月に左尿管結石で1名の入院がありました。

< グループホーム 碧天（あおぞら） >

1、事業及び体制の概要

事業名 (グループホーム) 共同生活援助 (介護包括型)
指定期間 平成 29 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで
定 員 6 名
職員配置基準 管理者 1、サービス管理責任者 1
生活支援員 1 名 (29 時間/週 以上)
世話人 2 名 (4 : 1 体制 38 時間/週 以上)
夜間支援体制 宿直体制

2、利用者の異動

年度当初	定員 6 名	現員 4 名	
年度末日	定員 6 名	現員 4 名	異動者なし

3、新型コロナウイルス感染症の対応

令和 5 年 2 月 10 日、抗原検査で碧天利用者 3 名にコロナ陽性が判明。ホーム待機とし、4 名全員自室対応。職員も限定して対応し、利用者 1 名と関係職員は、2 月 13 日と 20 日に滋賀県 EBS を利用し PCR 検査を受検したところ、2 回とも全員陰性判定を確認。感染も広がることなく、また、抗原検査で陽性だった利用者 3 名も無症状で約 2 週間を乗り切ることができました。昼食は一麦調理室で対応した。

4、コロナ感染リスクの高いグループホームでの対応

4 名それぞれが異なる作業所に通所していますので、ホームに戻るとマスクを交換し、手指消毒、検温をし、ホール内でも飲食時以外はマスクを着用してもらうよう取り組んできました。週末帰省もしてもらっています。わずかな感染リスクについてもご連絡いただくよう各事業所やご家族に依頼し、法人の方針をご理解いただくよう努めました。

5、主な活動及びホームの動き

誕生会、お月見会、クリスマス会、節分などの行事。

6、その他の事項

- ・ スタッフ会議 (業務確認、ケース検討会議等) 毎月 1 回
- ・ ご家族には、月 1 回の碧天通信や帰省時の連絡ノートで様子を伝えています。
- ・ 今年度は、週末開所は 1 度も実施できていません。ご家族からの要望がないわけではありませんが、現在のところ、ある程度固定された職員との暮らしの中で、個々の生活スタイルが関係性の中で確立され、週間には帰省できるという個々の利用者には、よいパターンで過ごせているようです。

＜大木会相談支援事業所＞

1、事業及び体制

従事の体制

管 理 者 1

相談支援専門員 1（管理者兼務）

指定期間 令和3年4月1日から令和9年3月31日

2、業務総括

専任を1名置き、大木会相談支援事業所（湖南市東寺一丁目1番3号）の事務所で業務を継続し、大木会の各施設を利用する利用者を中心に計画相談業務を実施しています。

亡くなられた利用者がおられました、セルフプランや他の相談支援事業所を利用していた方を引き受けることになり、総数としては大きな変化はありませんでした。更新期間が複数年から1年毎になる市町が増え、計画相談件数が増えているのが特徴です。

今年度も新型コロナウイルスの影響もあり、直接利用者ご本人と出会うことは控え、各施設窓口担当職員と書面や電話でのやり取りで書類を作成しました。地域の方1名につきましては、通所されている事業所でサービス管理責任者同席のもと聴き取りを行いました。

3、業務まとめ

計画相談担当ケース状況；年度当初の数

(人数)

区 分	大木会相談支援	他の事業所	セルフプラン	合計
一 麦	4 2	2	0	4 4
もみじ	3 1	7	2	4 0
あざみ	1 9	2	2	2 3
おおきな木	4	2	0	6
碧 天	0	4	0	4
地 域	1			1
合 計	9 7	1 7	4	1 1 8

令和5年3月31日現在；96名（大木会相談支援）

令和4年度の請求月処理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画相談	6	5	4	9	12	13	9	2	3	8	3	6
モニタリング	6	3	5	7	7	7	5	5	3	10	13	8
計	12	8	9	16	19	20	14	7	6	18	16	14

令和4年度実績

合計処理件数 159件

計画相談件数 81件

モニタリング件数 78件

令和4年度利用実績報告

参考資料

施設名	事業種別	定員（人）	年間利用者 実人数	年間延べ利用者数（人・日）		開所日数	1日の平均利用者数		平均障害支援区分		区分5・6の割合	
				令和4年度	令和3年度		令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
一麦	生活介護（日中）	50	42	11,012	11,405	269	41.3	42.4	5.4	5.4	88%	88%
	施設入所支援	50	42	14,939	15,501	365	41.0	43.3				
	短期入所	2	1	3	0	3	0.1	0.0				
もみじ	生活介護（日中）	50	52	11,380	11,801	269	42.4	43.9	5.3	5.2	90%	86%
	施設入所支援	50	41	14,566	14,628	365	40.0	40.1				
	短期入所	4	0	0	95	0	0.0	0.3				
あざみ	生活介護（日中）	30	29	6,185	6,181	269	23.0	23.0	4.8	4.7	69%	65%
	施設入所支援	30	24	8,413	8,543	365	23.1	23.5				
	短期入所	2	0	0	0	0	0.0	0.0				
合計	生活介護（日中）	130	123	28,577	29,387							
	施設入所支援	130	107	37,918	38,672							
	短期入所	8	1	3	95							

*生活介護利用者実数は、一麦(1人)、もみじ(4人)、あざみ(6人)、おおきな木(5人)の計16人は入所施設以外の生活介護を併せて利用している。

グループホーム（共同生活援助）

施設名	事業種別	定員（人）	年間利用者 実人数	年間延べ利用者数（人・日）		開所日数	1日の平均利用者数		平均障害支援区分	
				令和4年度	令和3年度		令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
おおきな木	共同生活援助	6	6	2,169	2,190	365	5.95	6	3.2	3.2
グループホーム 碧天	共同生活援助	6	4	1025	917	264	3.9	3.6	3.9	4.0
合計		12	10	3,194	3,107					